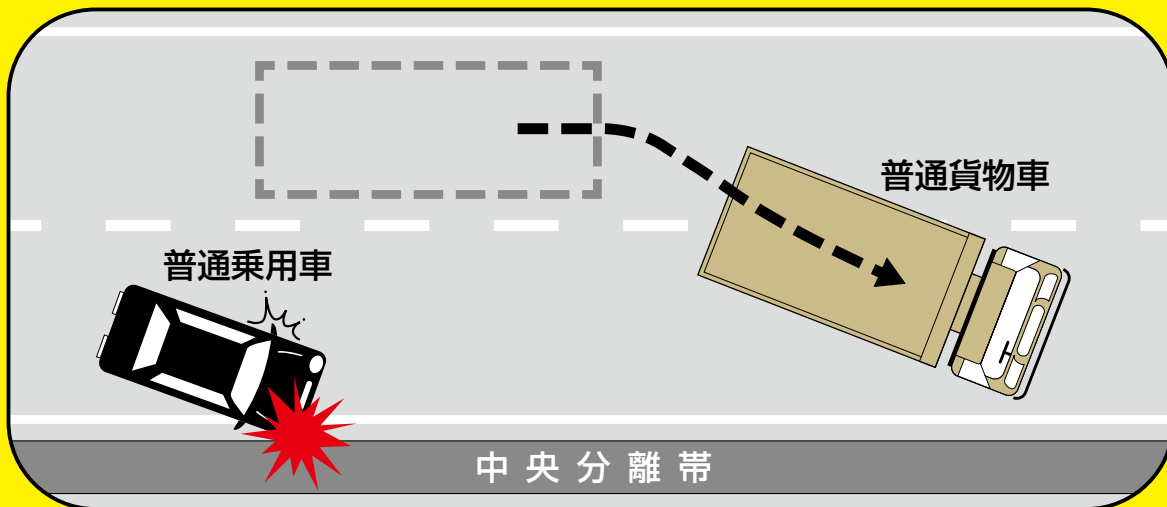


当たっていないのに事故？

～車線変更時に非接触事故！～



どのような場所か…

片側2車線の直線道路。

どのような事故か…

普通トラックが左側車線から右側車線に進路変更したところ、右側を進行していた普通乗用車に気づき、慌てて回避するも、相手車は驚愕して中央分離帯に接触した。普通貨物車と普通自動車は接触していない。

原因は……

トラックの右後方の安全不確認。
安易に確認せず、進路変更し、相手車の発見が遅れる。

この事故を防ぐためには…

車線変更時には、「他車にわかりやすい早めの合図！」と「前方後方左右の安全確認！」を確実に
行う。

「いないだろう」と安易な「だろう運転」は止めましょう。

また、トラックの死角を十分に認識し、ミラーで見える範囲は限られた範囲であるため、前方不注視とならない程度で後方の安全確認を何度か行う。

（確認を過信せず、慎重に再確認運転を。）

※「映っていない・見えていない」は、「いない」とイコールにはなりません。見落としている可能性は十分にあります。

《事故防止上の注意点》

- 今回のように相手が事故を起こしたことに気づき、適切な措置を取れば良いのですが、全国的に「当たってないのだから関係ない」ということで現場から立ち去る事例が散見します。当たってなくても事故になるケースがあります。その判断は警察官等が、原因（車線変更）と事故の発生に因果関係があるかで判断します。自損事故かはっきりしない場合は、必ず警察に連絡し判断を仰ぎましょう。場合によってはひき逃げとなってしまいます。
- 事故報告で「相手はいなかった。突然現れた。」とよく聞きます。「いない」のではなく「見えていなかった」とのケースが大部分を占めています。死角に潜む危険も再確認すれば死角から出ている事もあります。



事故事例ニュース

第305号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

気を抜くな！ 無駄だと思つな！ 『再確認』

高知県 (有)松田重機輸送 坂口 知佐様